

大日精化工業株式会社

# 中期経営計画

証券コード：4116

2021年8月



Dainichiseika

## 目次

- ① 長期ビジョン、基本戦略
- ② 技術テーマ
- ③ ESGテーマ
- ④ 海外テーマ
- ⑤ 数値集計

# ① 長期ビジョン、基本戦略

「10年後のありたい姿」

ミッション

- ✓ 技術力を生かしニッチマーケットで社会に貢献し続ける
- ✓ サステナブル社会の実現に向けた課題解決と新たな価値創造に取り組む

基本戦略

- ✓ 資本効率を重視した経営（ROE 9%以上、ROA 5%以上）
- ✓ 技術主導による競争優位性の確保
- ✓ サステナブル社会の実現に向けたESG重視の経営推進
- ✓ 事業基盤の強化のための海外事業の拡大（海外売上高向上）

# ① 長期ビジョン、基本戦略—戦略の方向性

## 2020年 実績

売上	営業利益
1,066 <sup>※1</sup> 億円 (1,384)億円	49 億円



## 3年後（2023年）数値目標

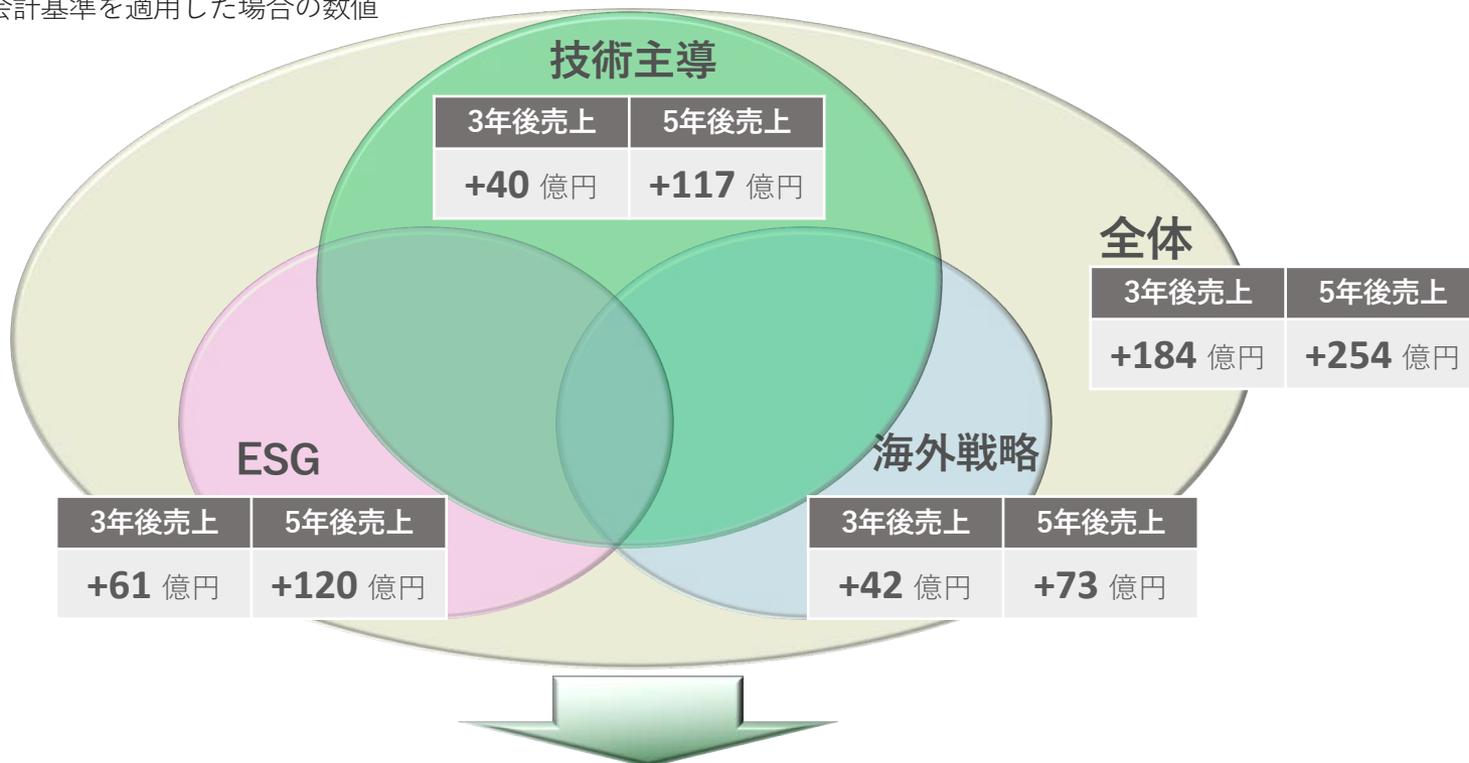
売上	営業利益
1,250 億円	87 億円



## 5年後（2025年）数値目標

売上	営業利益
1,320 億円	120 億円

※1 収益認識に関する会計基準を適用した場合の数値



ROE 9%以上、ROA 5%以上を産み出す利益体制の構築

# ① 長期ビジョン、基本戦略—ロードマップ

## 成長シナリオと10年後の位置づけ

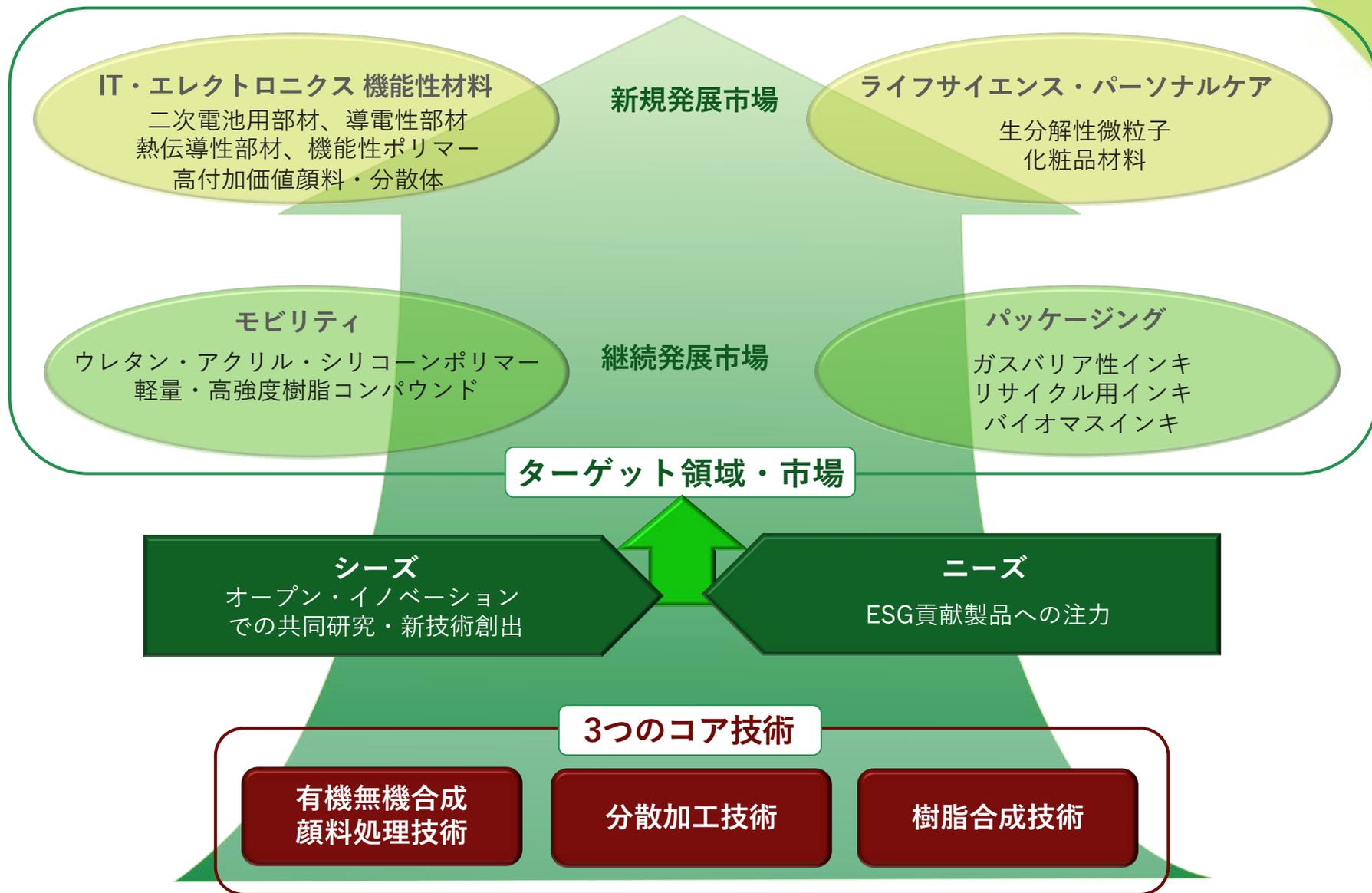


- ・ コロナ禍からの回復
- ・ 既存事業の着実な推進
- ・ 技術開発強化  
(ESGを中心とした新規事業)
- ・ 海外市場開拓 (北米、EU、インド)

- ・ 資本効率の高い利益体制構築
- ・ 新規事業の実績化加速
- ・ 海外市場戦略 (資本提携、M&A)

- 資本効率の向上  
(ROE、ROA目標の達成)
- 収益力の向上
- エクセレントカンパニーの実現
- 国内海外比率の適正化

## ② 技術テーマーロードマップ<sup>o</sup>新規事業



## ② 技術テーマ—技術主導による競争優位性の確保・セグメント別戦略まとめ

新規・・・新規発展市場、継続・・・継続発展市場

### Color & Functional Products 顔料及び顔料の2次加工製品

当社の基盤セグメントとして、安定した利益を維持

- ✓ 顔料合成、分散加工をベースに、顔料二次加工製品、機能材に注力する
- ✓ 海外市場強化—機能性ESG貢献製品の展開

新規

二次電池用部材

導電性部材

熱伝導性部材

高付加価値顔料分散体

生分解性微粒子

継続

軽量・高強度樹脂コンパウンド

### Polymer & Coating Materials 合成樹脂及び特殊コーティング剤

今後の成長セグメントとして、積極的に経営資源（ヒト、モノ、カネ）を投入

- ✓ 樹脂合成・変性をベースに、ESG貢献製品を開発する
- ✓ 海外展開—機能性ESG貢献製品（北米、中国、EU）

継続

機能性ポリマー

新規

化粧品材料

ウレタン・アクリル・シリコンポリマー

### Graphic & Printing Materials パッケージ用及び広告出版用インキ

安定したパッケージ市場を中心に、積極的な拡販策で一定の収益を確保

- ✓ 坂東新工場の設備を活用し、製品の競争力を高めていく
- ✓ 顔料合成、分散加工、樹脂合成をベースに、ESG貢献製品を中心にパッケージ分野に拡販していく

継続

ガスバリア性インキ

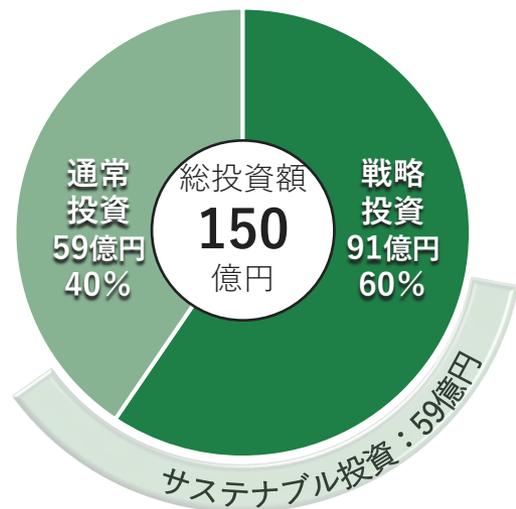
リサイクル用インキ

バイオマスインキ

## ② 技術テーマ—中期設備投資計画

3カ年の設備投資 総額150億円の6割が戦略投資、4割が通常投資  
また、総額の約4割がサステナブル投資

### 3カ年 設備投資総額



戦略投資

### 3カ年戦略投資 内訳

#### 対象事業

生分解性微粒子

二次電池向け素材

機能性ポリマー

坂東製造事業所の増能力

インドネシア工場の増能力

佐倉テクノロジーイノベーションセンター

新・技術研究センター（仮称）

### ③ ESGテーマーサステナブル社会の実現に向けた、ESG重視の経営推進

持続可能な社会の実現を目指し、様々な課題解決と社会に役立つ価値創造に向けて、自らの改革とガバナンスの強化に努めます

地球規模での環境問題や社会環境が急速に変化する中で、サステナブル社会の実現に向けて、我々企業は、脱炭素化、資源循環をはじめとする社会的課題の解決、自然災害やパンデミックに対するレジリエンスの強化などに機敏に対応する事が重要と認識。

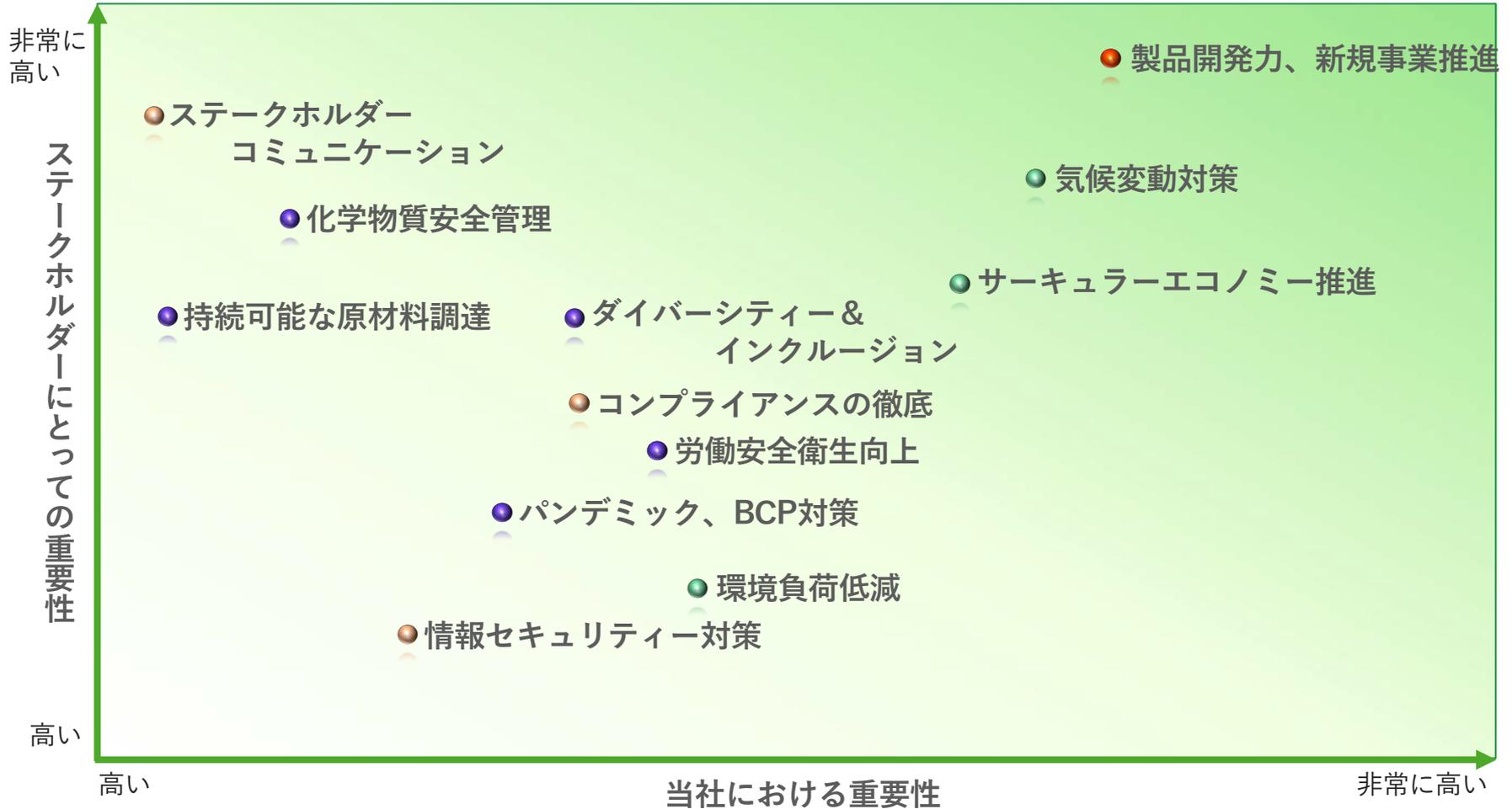
当社グループでは、地球環境と社会の持続可能な発展の為に、CSR基本方針のもと、E（環境）・S（社会）・G（ガバナンス）に関するリスク対応と新たな価値の創出に向けて、全社員が能動的な活動を推進する。



# ③ ESGテーマー マテリアリティ・マトリックス

ESGの課題をマテリアリティ・マトリックスに抽出し、効率的に取り組む

● 製品開発力・新規事業推進 ● 環境面での課題解決 ● 社会面での課題解決 ● ガバナンス面での課題解決



### ③ ESGテーマー主要マテリアリティとその説明

	マテリアリティ	選定理由・活動方針	対応するSDGs
E・環境性	気候変動対策 (地球温暖化防止)	気候変動の影響は世界的な課題。 脱炭素化が課題解決に必要。 リスク対策と収益機会の両面に取り組む。 (次頁にて補足説明)	   
	サーキュラー エコノミー推進 (資源循環型経済)	化石資源の枯渇防止、廃棄物の海洋汚染防止。 これら課題解決に向け法令の整備が進んでいる。 リスク対策と収益機会の両面に取り組む。 (次頁にて補足説明)	     
S・社会性	労働安全衛生向上	化学工場において災害・疾病は重大なリスク。 労働集約型の当社では従業員の健康維持が必須。 関係法令の順守と現場管理の強化に取り組む。	  
	化学物質安全管理	環境や人の健康への被害軽減は重要課題。 当社製品のライフサイクルに渡るリスク軽減が必須。 化学物質管理システムを活用し、安全情報を適切に管理・開示する事に取り組む。	 
	ダイバーシティ & インクルージョン	人財の多様性をお互いに尊重し合い、社会と当社が共に成長できる職場環境が必要と認識。 全ての人達が活躍できる職場環境の形成に取り組む。 (次頁にて補足説明)	  
G・企業統治	コンプライアンスの徹底	ステークホルダーの信頼を高めるために、法令順守に留まらず、社会貢献に向けて能動的に取り組む。	
	情報セキュリティー 対策の強化	ステークホルダーの信頼と事業活動の安定化の為に、近年増加しているサイバー攻撃等に対する防御・回復力の強化に取り組む。	

### ③ ESGテーマー主要マテリアリティとそのサステナビリティ目標

#### 気候変動対策（地球温暖化防止）

KPI	目標年度	目標値
国内当社グループのエネルギー使用に伴うCO <sub>2</sub> 排出量（Scope1+Scope2）	2023	2013年度比70%削減

- ✓ TCFD提言に沿ったリスクと機会への対応
- ✓ 実質再生可能エネルギー100%の電力調達を加速

#### サーキュラーエコノミー推進（資源循環型経済）

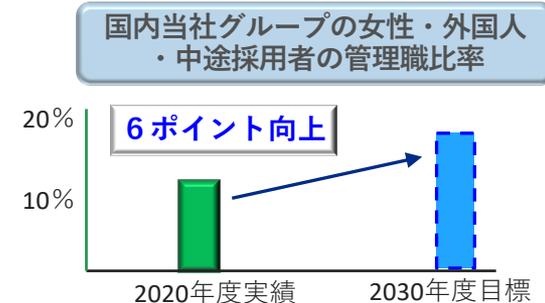
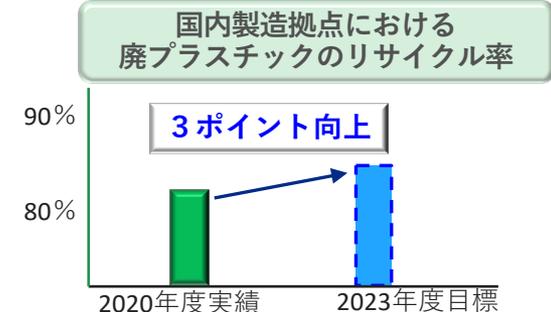
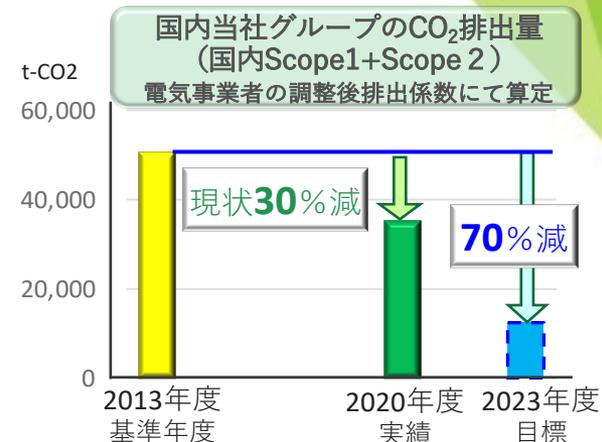
KPI	目標年度	目標値
国内製造拠点から排出される廃プラスチックリサイクル率	2023	2020年度比3ポイント向上

- ✓ 生産工程、廃棄物処理工程の改善
- ✓ 資源リサイクルとバイオマス由来の製品開発促進

#### ダイバーシティ&インクルージョン

KPI	目標年度	目標値
女性・外国人・中途採用者の管理職比率	2030	2020年度比6ポイント向上

- ✓ 全ての従業員が長く勤められる職場環境の形成と人財育成



# ① 長期ビジョン、基本戦略—戦略の方向性

スライド再掲

## 2020年 実績

売上	営業利益
1,066 <sup>※1</sup> 億円 (1,384)億円	49 億円

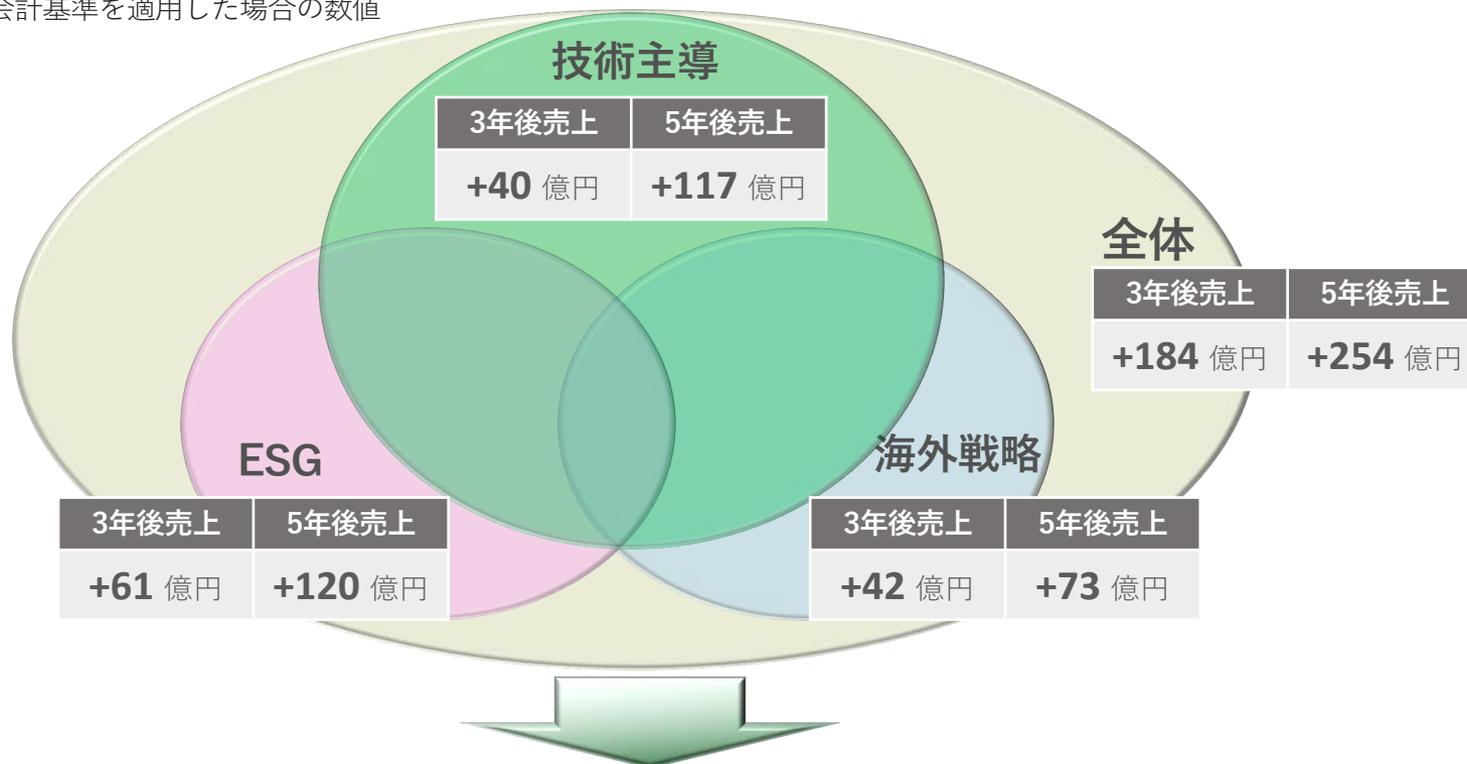
## 3年後（2023年）数値目標

売上	営業利益
1,250 億円	87 億円

## 5年後（2025年）数値目標

売上	営業利益
1,320 億円	120 億円

※1 収益認識に関する会計基準を適用した場合の数値



ROE 9%以上、ROA 5%以上を産み出す利益体制の構築

### ③ ESGテーマーESG貢献製品（脱炭素社会に貢献する製品、その他）

#### サプライチェーン全体で社会的な課題解決に貢献する

##### 気候変動対策に向けたアイテム

二次電池、太陽電池用部材

車両の軽量化に寄与する樹脂製品

UV・EBコーティング剤

CO2を原料とした素材

建築物の省エネ用遮熱材



##### その他のアイテム

ガスバリア性軟包装材向け接着剤  
(フードロスの削減)

高圧送電線の被覆材向け素材  
(電力インフラの強化)

高速大容量通信の被覆材向け素材  
(通信インフラの強化)

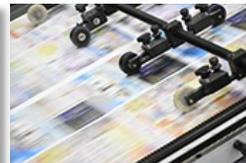


##### サーキュラーエコノミー推進に向けたアイテム

バイオマス由来の製品（インキ、ウレタン樹脂、樹脂ビーズ）

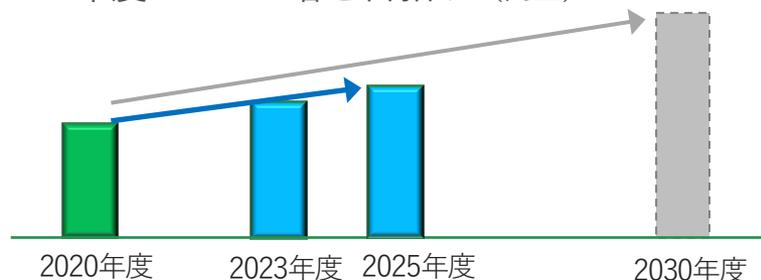
軟包装材リサイクル用脱墨型インキ

生分解性微粒子

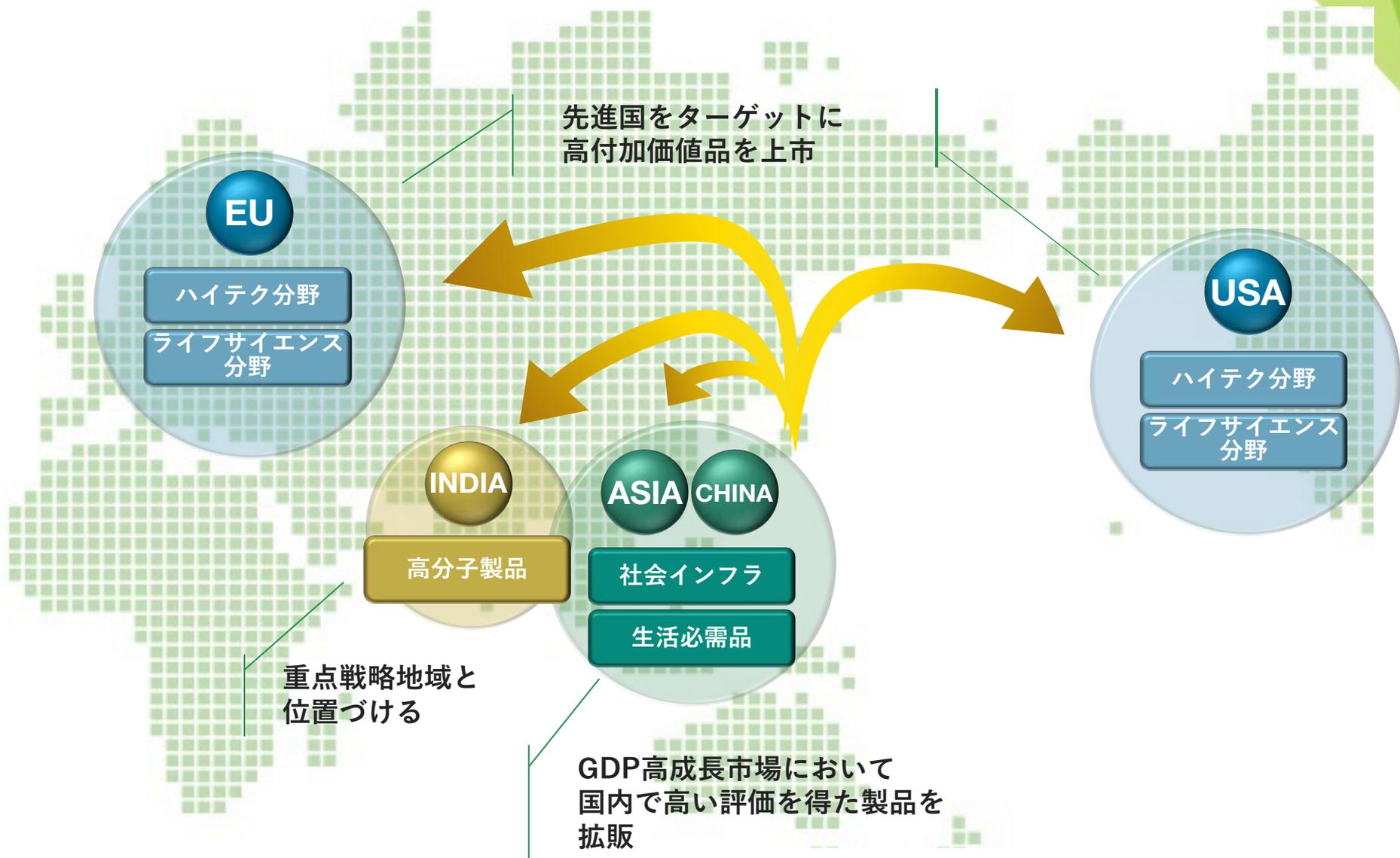


##### ESG貢献製品の売上高の向上

目標：2023年度 20%増（2020年度比）  
2025年度 35%増（同上）  
2030年度 150%増を目指す（同上）



## ④ 海外テーマー海外事業の拡大（中長期戦略）エリア別位置づけ



## ④ 海外テーマー海外事業の拡大（中長期戦略）

セグメント	海外戦略
<b>Color &amp; Functional Products</b>	<div style="display: flex; flex-direction: column; gap: 10px;"> <div style="display: flex; align-items: flex-start;"> <div style="margin-right: 10px;">   </div> <p>欧米市場を主戦場に、顔料分散体の積極的な拡販及び現地生産を目指す。</p> </div> <div style="display: flex; align-items: flex-start;"> <div style="margin-right: 10px;">   </div> <p>欧米市場を中心に、ライフサイエンス分野の機能性材料の本格上市を図る。</p> </div> <div style="display: flex; align-items: flex-start;"> <div style="margin-right: 10px;">    </div> <p>ASEAN、中国・インド市場を中心に電線用フッ素マスターバッチの拡販、繊維用マスターバッチ市場への進出を狙う。</p> </div> </div>
<b>Polymer &amp; Coating Materials</b>	<div style="display: flex; align-items: center; gap: 20px;"> <div style="text-align: center;">  </div> <p>インドにてウレタン製品等の高分子製品を積極展開する。 長期的にはインドでの現地生産を検討する。</p> </div>
<b>Graphic &amp; Printing Materials</b>	<div style="display: flex; align-items: center; gap: 20px;"> <div style="text-align: center;">  </div> <p>引続き高い経済成長が見込まれるインドネシア市場をターゲットとし、生産拠点の拡充により旺盛な需要の取り込みに注力する。</p> </div>

## ④ 海外テーマ—海外中期計画（2021～2023年度）

連結補正前の単純合算数値

（金額：億円）

海外売上高	2020 実績	2021 計画	2022 計画	2023 計画	2020:2023
Color & Functional Products	170	174	184	192	+22
Polymer & Coating Materials	77	82	89	95	+18
Graphic & Printing Materials	77	77	78	80	+3
合計	324 <sup>※1</sup>	333	351	367	+42

※1 2020年は、収益認識に関する会計基準を適用した場合の数値

### Color & Functional Products 顔料及び顔料の2次加工製品

- 情報電子分野、高機能着色剤、機能製品の開発テーマに注力
- 海外（ASEAN）では、樹脂コンパウンドを拡販
- コロナ禍からの立ち直り等に伴う需要の回復及び拡販

### Polymer & Coating Materials 合成樹脂及び特殊コーティング剤

- 世界3拠点（日本、北米、中国）を核に、水性、バイオマスを中心としたESG貢献製品の展開を図る。

### Graphic & Printing Materials パッケージ用及び広告出版用インキ

- ASEAN（インドネシア）地区で地産地消による拡販を進める。

## ⑤ 数値集計—中期経営計画 計数目標 (2021～2023年度)

(金額：億円)

	2020年度実績	中計最終年度 (2023年度)
売上高	1,066※ <sup>1</sup> (1,384)	1,250
営業利益	49	87
経常利益	56	95
当期純利益	63	67
ROE	6.5%	6.0%
ROA	2.9%	4.7%
EBITDA※ <sup>2</sup>	97	142

※<sup>1</sup> 収益認識に関する会計基準を適用した場合の数値

※<sup>2</sup> 営業利益 + 減価償却費見込み額

	2020年度実績	中計期間 累計 (2021 - 2023年)
投入資源		
設備投資	72	142※ <sup>3</sup>
D/Eレシオ	0.3	0.3

※<sup>3</sup> 前期 未払金42億を含む

## ⑤ 数値集計— 計数目標 (2021～2023年度)

(金額：億円)

セグメント		2020 実績	2021 計画	2022 計画	2023 計画	2020：2023 増減
<b>Color &amp; Functional Products</b>	売上高	597 <sup>※1</sup> (915)	683	686	707	+110 <sup>※1</sup>
	営業利益	16	25	31	46	+30
	EBITDA	46	55	62	76	+29
<b>Polymer &amp; Coating Materials</b>	売上高	198	235	243	247	+49
	営業利益	27	24	28	34	+7
	EBITDA	37	36	41	46	+9
<b>Graphic &amp; Printing Materials</b>	売上高	268 <sup>※1</sup> (269)	281	292	297	+29 <sup>※1</sup>
	営業利益	7	5	5	7	+0
	EBITDA	13	16	19	20	+7
<b>合計</b>	売上高	1,066 <sup>※1</sup> (1,384)	1,200	1,220	1,250	+183 <sup>※1</sup>
	営業利益	49	54	64	87	+38
	EBITDA	97	107	121	142	+45

※1 2020年は、収益認識に関する会計基準を適用した場合の数値

※2 2021～23年 為替:ドル 102円、ユーロ 121円、原油(45\$/bbl)、国産ナフサ (32,800円/KI)

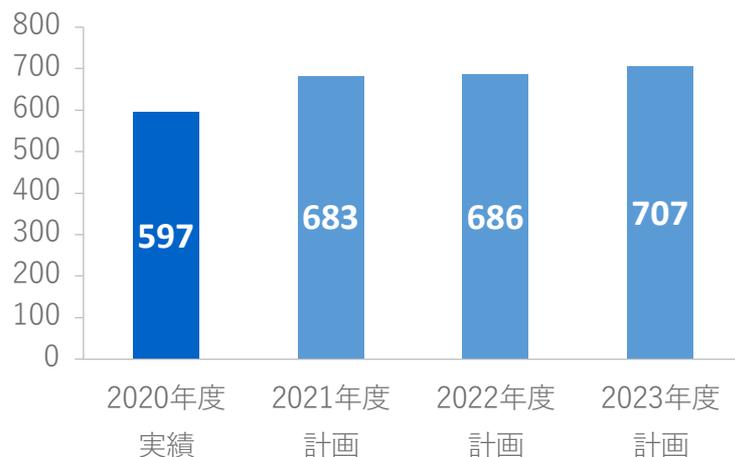
## ⑤ 数値集計— セグメント別中期戦略 (1/3)

### Color & Functional Products (カラー&ファンクショナルプロダクト)

- ✓ 情報電子分野、高機能着色剤、機能製品の開発テーマに注力
- ✓ 海外 (ASEAN) では、樹脂コンパウンドを拡販
- ✓ コロナ禍からの立ち直り等に伴う需要の回復及び拡販

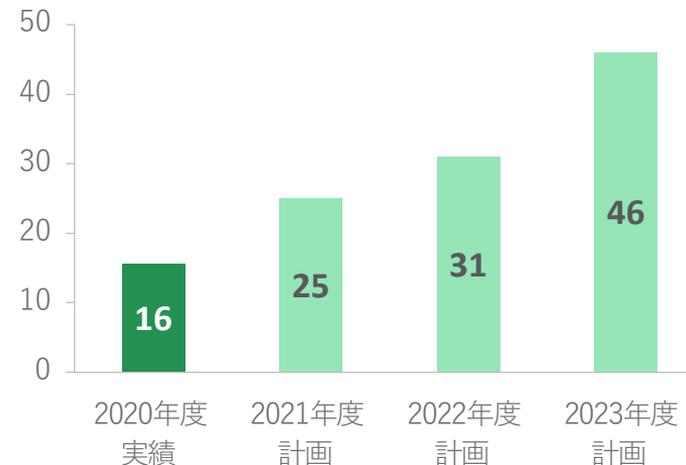
【売上高】

(単位：億円)



【営業利益】

(単位：億円)



※2020年の売上高は、新収益認識基準に基づく実績

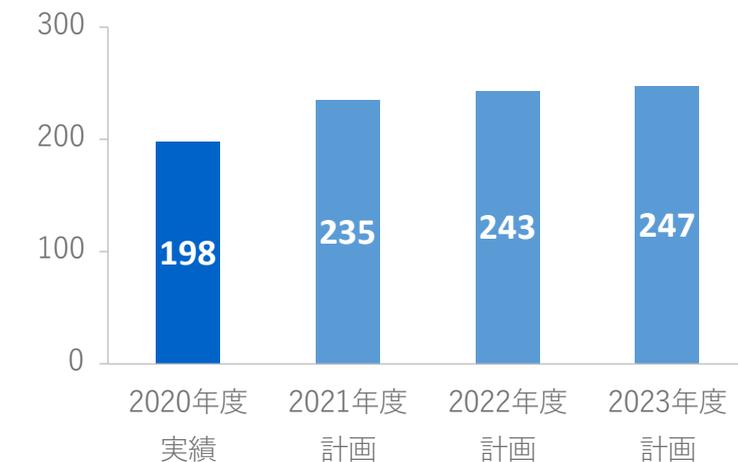
## ⑤ 数値集計— セグメント別中期戦略 (2/3)

### Polymer & Coating Materials (ポリマー & コーティング マテリアル)

- ✓ 世界3拠点（日本、北米、中国）を核に、水性、バイオマスを中心としたESG貢献製品の展開を図る
- ✓ UV等、機能性コーティング剤の拡販に注力する
- ✓ コロナ禍からの立ち直り等に伴う需要の回復及び拡販

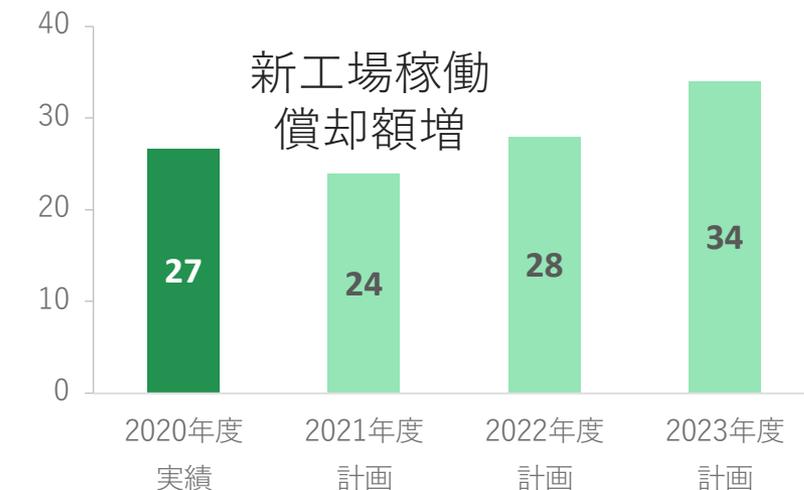
【売上高】

(単位：億円)



【営業利益】

(単位：億円)

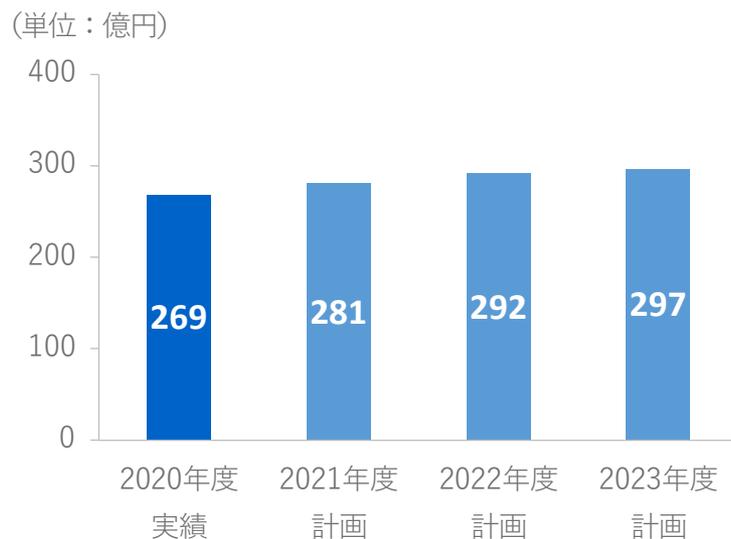


## ⑤ 数値集計— セグメント別中期戦略 (3/3)

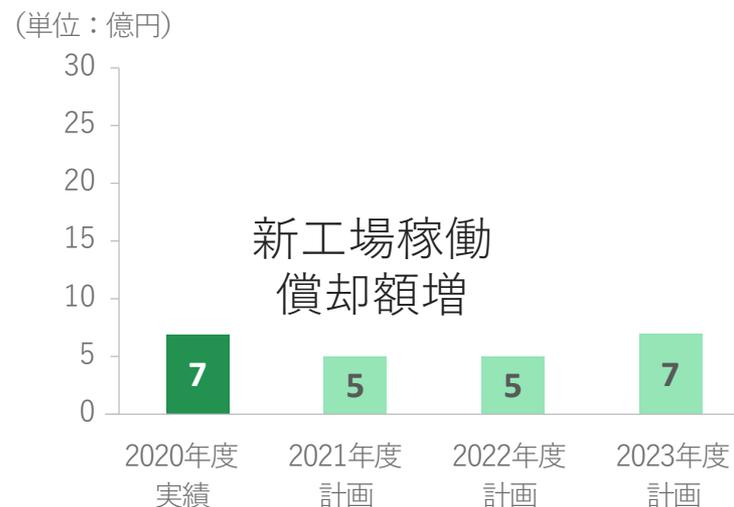
### Graphic & Printing Materials (グラフィック & プリンティング マテリアル)

- ✓ 新設移転する坂東製造事業所の新設備を活用して、製品の競争力を強化する
- ✓ ESG貢献製品（水性、バイオマス）を中心に拡販を図る
- ✓ ASEAN（インドネシア）地区で地産地消による拡販を進める

【売上高】



【営業利益】



## ⑤ 数値集計— 株主還元

### 配当の方針

- ✓ 業績に連動した安定的・継続的な株主還元を着実に実施
- ✓ 財務体質の健全性を維持しながら、成長に向けての投資及び環境投資へ優先的に配分
- ✓ 配当性向は2～3割程度を計画

(単位：億円)

